

なし新品種「筑水」の特性

1. 来歴及び育成経過

筑水は、農林水産省果樹試験場において、豊水に八幸を交配して育成された品種で、昭和63年に命名・発表された。当場では、昭和58年に「筑波36号」の系統名で導入し試作検討を行った。

2. 特性の概要

樹勢は中程度で、新しょうの発生がやや多く短果枝の着生も良好である。えき花芽の着生は、多い方である。

開花期は、主要品種である幸水とほぼ同時期である。花粉は多い方で、幸水・豊水など主要品種と交配親和性があり、受粉樹としても利用できる。

収穫期は、8月中・下旬で長寿と新水の間である。平均果重は260g前後でやや小果であるが、果肉が柔らかく糖度12%前後と高く、酸味が少なく食味が良好である。果皮色は中間色で幸水に近く、果形は円形で玉揃いは良好であるが、年によって果実表面に凹凸の発生がみられる。また、収穫期になってもていあ部に緑色が残る特徴がある。

栽培特性をみると、生理落果はほとんどないが、果梗が短かく軸折れする場合がある。また、本年は葉色が淡く早期落葉がみられた。収量は、樹齢の同じ新水と比べると多いといえる。えそ斑点病は非発現性で、黒斑病には抵抗性の品種である。

表-1 昭和61年度生育特性及び果実品質

品種名	樹齡	樹勢	新梢 発生	短果枝 着生	腋花芽 着生	開花盛 月・日	収 穫 期		
							始	盛	終
長 寿	11	ヤ強	中	中	中	4. 30	8. 11	8. 21	8. 27
新 水	4	強	少	少	少	4. 30	8. 25	—	8. 29
筑 水	4	中	ヤ多	中	中	5. 2	8. 18	8. 25	8. 27

品種名	果形	果 重 g	硬 度 ポンド	糖 度 %	みつ症	す入り	収 量
							kg
長 寿	円	288	5.7	11.5	なし	なし	10.16
新 水	扁円	275	—	—	—	—	2.2
筑 水	円	269	5.1	12.3	なし	なし	3.5

表-2 昭和62年度生育特性及び果実品質

品種名	樹勢	新梢	短果枝	腋花房	開花盛 月・日	収穫期		
		発生	着生	着生		始	盛	終
長寿	中	中	中	少	4.21	8.6	8.11	8.24
新水	強	少	少	少	4.20	8.11	8.24	8.26
筑水	中	ヤ多	中	ヤ多	4.22	8.11	8.17	8.24

品種名	果重 g	硬度 ポンド	糖度 %	酸度 pH	みつ症	す入り	収量 kg
長寿	251	5.7	10.6	4.98	なし	なし	94.4
新水	339	5.2	12.8	4.68	なし	なし	3.2
筑水	276	5.3	12.1	5.02	なし	なし	11.0

表-3 昭和63年度生育特性及び果実品質

品種名	樹勢	新梢	短果枝	腋花房	開花盛 月・日	収穫期		
		発生	着生	着生		始	盛	終
長寿	ヤ弱	中	中	少	4.28	8.9	8.19	8.29
新水	ヤ弱	中	中	少	4.27	8.18	8.29	9.3
筑水	中	ヤ多	中	ヤ少	4.27	8.17	8.24	9.5

品種名	果重 g	硬度 ポンド	糖度 %	酸度 pH	みつ症	す入り	収量 kg
長寿	290	5.4	11.2	5.11	なし	なし	98.4
新水	276	5.3	13.2	4.69	なし	なし	11.2
筑水	261	4.7	11.8	5.10	多	なし	15.5

3. 成果の要約

筑水は、8月中・下旬に収穫する早生品種である。果実は260g前後とやや小果であるが、食味は良い。しかし、年によってみつ症の発生がみられる。

新しょうの発生は多い方で、短果枝の着生が良く、花粉が多いため受粉樹としての利用が期待される。

なお、新しょうがわん曲し直立しないため、主枝・亜主枝の育成に当ってはそえ木をする必要がある。また、えそ斑点病は非発現性であり高接ぎ更新が容易である。

(担当者 果樹部 三坂 猛)